

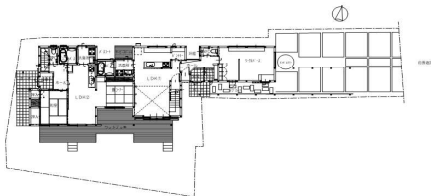
『東長町の家』

紀州材と自然素材の住まい

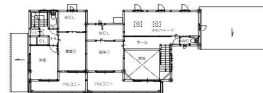


■ コンセプト

東西に長く伸びる敷地に2世帯住宅と子世帯のご主人のワークスペースなどをどう配置するかがキーポイントでした。ワークスペースは将来セミナー開催なども視野に道に面した東側に、踏地の様なアプローチを進んで子世帯の住空間その奥に親世帯とプランニング。親世帯と子世帯は完全分離ですが、ウッドデッキとリビングでつなげ、2つの家族が気兼ねなく暮らせる空間としました。自然素材と環境にこだわり、構造材・内装材・一部外装材にも紀州材をたっぷり使用。南面に広い屋根には太陽光発電を設置。断熱はセルロースファイバーを壁は薩摩霧島壁の塗壁、土佐和紙など用い、塗装材料なども人にも環境にもやさしい材料を使用しました。



1階平面図 S: 1/200



2階平面図 S: 1/200

■ データ

設計：1級建築士事務所 アリス設計工房
施工：朶 工務店

【 ホームページ掲載用ポスターデータ 】

※ここに掲載されている全ての内容の無断転載、画像や文章等の無断複製・印刷・転用を禁じます。